

コロナ前への回復が感じられた矢先に、再び震度5強…

6月も後半、梅雨入りが遅れるなか、夏日、真夏日が珍しくない今日この頃です。配送車両の室内温度は急上昇、LPガス容器が設置されている場所は屋外ですから、水分と塩分の補給や十分な睡眠、帽子の着用など熱中症対策は欠かせません。

去年の連休明けにコロナが5類相当へ緩和となり、今年の連休の人出はコロナ前を思わせる活況を呈していましたが、そこへ再び、輪島・珠洲

(能登半島上部)で震度5強が襲い、回復ムードに冷や水を浴びせる格好となりました。

わが社の配送の守備範囲は、輪島・珠洲からは約100km離れており、施設や社員に被害はありませんでしたが、被災地に親族・縁者が居住する社員も少なくなく、正月以来、心配を抱えながら黙々と日々の業務に当たってくれています。

右:シリンダー配送車



左:バルク配送車

コロナ感染者も減ったとはいえ身近にも時々罹患者が出ており油断大敵。人が集まる場所へ立ち入る際のマスク着用などは任意ですが、毎日の検温と記録は続けています。LPガスの消費がV字回復してどんどん仕事が増えてもしっかりと供給責任を果たせるよう、私たちの準備は出来ています。

配送先のお客様から「大変やね、いつもありがとう」のお言葉。元気百倍です！